

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／市民健康部市民センター課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学級講座等運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	市民相互の結びつきと自主的な学習活動を支援するため、学級講座等を運営する。	各学級・大学での学習支援や公民館登録団体への支援を行い、各種講座や公民館まつりを開催した。 (学級89講座、大学78講座、定期・短期講座54講座、キッズルーム開設247回)	4：大いに近づいた	継続	5,328	53,865	59,193	時代の流れに対応した全世代を対象とした講座等運営事業の実施	市民ニーズに沿った講座の企画講座申込手段の多様化による参加者の増加	
2	市民センター管理事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	市民センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	施設の設備等が安全に使用できるように管理し必要な修繕を行った。	5：達成した	継続	127,638	35,433	163,071	施設の老朽化や経年劣化による修繕箇所増加	施設の改修計画と保全管理	
3	公共公益施設整備基金積立事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	市民センター施設の整備資金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する。	自動販売機設置に伴う貸付収入を基金に積み立てた。	5：達成した	継続	120	75	195	安定した収入の確保	適正な管理の継続	
4	公有財産管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	公有財産を有効活用するため、普通財産を適正に管理する。	普通財産として貸付により管理を行った。	4：大いに近づいた	継続	3,501	2,333	5,834	経年劣化等による適切な修繕時期	管理会社と連携した適切な管理	
5	市民センター課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	課の庶務事務全般を効率的に行った。	5：達成した	継続	-	21,823	21,823	正確で効率的な事務執行	デジタル技術やデータを活用した事務の効率化	
6	サービスセンター事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民の利便性の向上を図るため、市民の需要度の高い窓口業務を市民センターで実施する。	各種証明書の発行や届出の受付業務を関係各課と連携し適正に実施した。	5：達成した	継続	-	75,233	75,233	利便性の向上と正確で迅速な事務執行	情報システムの標準化へのスムーズな移行 関係各課との効率的な連携	
7	災害対策本部事業 (他課からの一部予算再配当事務)	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、災害対策本部機能の充実を図る。	災害などの非常時への準備のため必要な物品等を調達した。	3：おおむね近づいた	継続	89	226	315	災害発生時に備える必要物品等の更なる調達	関係各課との連携を強化した大規模災害に備える準備	